

令和3年度

指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】

法人名称	社会福祉法人溪流会
事業所名称	草花苑
事業所所在地	東京都あきる野市草花1980番
事業所電話番号	042-559-8131

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)	<p>1) 事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン、基本方針など)のうち、特に重要なもの(上位5つ程度)を簡潔に記述(関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)</p> <p>2) 上記理念を、ケア場面で実現するべく、事業計画の中に、ケアスタッフリーダー層が自ら考え共有したケアスタッフの方針として、「寄り添い共感できるスタッフであること」を数年来掲げている。</p> <p>3) トップダウンをなるべく排除して、ボトムアップを意識した運営を目指している。軸となる個別ケアを展開し、ケアの専門性を向上させる為に、介護記録の充実、居室担当活動の活性化、委員会活動の活性化、介護職組織の職制構成等に工夫をしている。</p> <p>4) 他施設介護職との協働企画の介護学生向け「さんえんキャンプ」、隣接特養と協働実施の地元自治会向け交流事業「オリカフェ」、同市内・八王子・桧原村の5法人5特養で実施する介護職員向けステップアップ研修の企画提案呼びかけ等、地域に様々な形で広がる可能性を持った企画や実践を試行錯誤している。</p>

全体の評価講評

💡特に良いと思う点

- 自然環境に恵まれた場所に立地し敷地内の庭も整備され、利用者は外気浴とともにゆったりとした生活を送っている**

当事業所は川のほとりに建設され、小さな山を背負い自然に囲まれた中で利用者への支援を行っている。建物には中庭もあり、1日中明るい陽ざしが降り注ぐ共有スペースからは川や中庭の池も見渡せる。ソファも多くの場所に設置され、利用者は思い思いの場所で過ごし、特に食堂にもなる共有スペースでは活気も感じられる。敷地も広く、桜や薔薇、みかん等の木々もあり、利用者は散歩や外気浴、猫の世話等を楽しんでいる。新型コロナウイルスの影響もあまり感じず、ピヤガーデンや花火、餅つき大会や焼き芋等々も楽しんでいる。
- 毎日定時でカンファレンスを開催することで利用者本位の生活に向けている**

毎日午後にはカンファレンスを開催し、利用者の情報を詳細に共有している。カンファレンスも支援とヒヤリハットとの2種類設け、利用者の安全とともに支援での利用者の思いも共有、計画との僅かな相違点も修正している。最低でも毎年4回正式なカンファレンス日を設けさらに利用者に合わせて開催している。カードックスに記載する支援の記録とともに利用者に関わる専門職も参画することで、フロア全体で利用者の情報の共有化につながられている。利用者の思いの実現に職員のフリー勤務体制も設け、利用者本位の生活を提供している。
- チューターによる新人職員への育成やフロアサポートによる職員へのフォロー体制は組織力を向上させている**

新人職員への育成体制を確立し、育成を担当するチューターが新人研修ノートとともに育成している。チェック体制を整え、専門各職による育成とともに期間を決めながら育成している。内容は毎年事業計画書にも記載し、経験年数を積んだ職員は誰でもチューターとして育成できるようにしている。また、フロアのサブマネージャーとは別にフロアサポートも設け、職員からの意見や提案をまとめたり、メンタル面のフォローも行っている。さらに事業計画書にはケアプラン作成マニュアルを掲載し、すべての職員がケアプランを作成できるようにしている。

さらなる改善が望まれる点

● IOTのさらなる活用で、利用者の安全と職員の負担減につなげることが期待される

事業所では利用者の計画とともに看護記録のICT化に向け、見守りセンサー等も活用、職員間での情報の共有や利用者の安全の確保に向けている。そこで、これから期待されるIOT(モノのインターネット)に向け、予算や助成金を確認しながら睡眠センサー機器や移乗をサポートするロボット等の導入が期待される。利用者の安全や安定した生活の確保とともに、職員の腰痛予防等身体の負担の軽減にもつなげていきたい。

● 家族とのさらなる交流や連携の機会づくりが期待される

利用者の状況はホームページやケアプランへの記載で家族へ詳細に報告しているが、新型コロナウイルスの影響で、家族の面談や来所に規制が設けられる時期もあり、交流の機会が減少している。そこで、このような時期のため、家族との連携や交流方法を再構築することが期待される。電子機器の可・不可も含め、家族とも相談していきたい。

● さんえんキャンプとオリカフェの再構築が期待される

「さんえんキャンプ」は、学生と職員や事業所との直接の交流の場でもあった。また、「オリカフェ」の本格的なコーヒーや出張図書館、各種の講座等で地域貢献を果たしている。どちらも今回の新型コロナウイルスの影響を顧みながら、コロナ禍前の交流方法とともに制約時の交流方法の2面性での再構築が期待される。どちらも長く続けて欲しい。

事業者が特に力を入れている取り組み

★ 受講した職員が講師になったリチューターやフロアサポートが組織力向上に寄与している

感染症予防防護服研修を受講した職員が講師として演習での研修を開催し、介護職員に伝授したり緊急時に備えている。また、新人職員の育成も職員が交替でチューターとなり、新人研修ノートを活用して自己評価やチューターの評価、専門職からの講義等で育成している。さらに各フロアに複数のフロアサポートを設け、新人職員や経験の浅い職員を中心としたメンタル面のサポートや意見等をフロアマネージャー等に取り次いでいる。繰り返すことで年々組織力の向上に向けられている。

★ カンファレンスの開催で利用者を知り、利用者本位の支援に向けられている

利用者への支援とヒヤリハットの2種類のカンファレンスを毎日開催し、利用者の情報を共有している。専門職も一緒に意見交換することで、利用者の安全とともに利用者本位の生活に向けた支援に向けられている。安定している利用者にも年間で4回開催し、必要な利用者には変化の都度実施するようにし、支援内容とともに生活の安定化にも向けている。

★ 行事食やイベント食、料理クラブ等で「食事」の楽しみをより多く提供している

誕生会も含め、毎月行事食やイベント食の日を5~7回、最大で8回設定し、提供している。毎月給食懇談会の日を設け、利用者からのリクエストや感想を基に提供しているため、好評を呈している。イベント食には毎月、リクエスト食の日もあり楽しみも提供している。さらにクラブ活動にも料理クラブを設け、ホットプレートを使ったり手作りおやつも楽しんでいる。コロナ禍での規制にも影響されず、楽しみの回数を増やしている。

利用者調査結果

調査概要

- **調査対象**：事業者と協議し、質問内容の理解が難しい利用者などを除いた、調査に協力可能な利用者13名を対象とした。内訳は男性が2名、女性11名であった。
- **調査方法**：アンケート方式
聞き取り方式による調査を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、アンケート方式による調査を実施した。
- 利用者総数：96人
- 共通評価項目による調査対象者数：13人
- 共通評価項目による調査の有効回答者数：13人
- 利用者総数に対する回答者割合（%）：13.5%
- 調査項目：[共通評価項目](#)

1. 食事の献立や食事介助など食事に満足しているか	はい 92%		<input type="checkbox"/> どちらともいえない：0% <input type="checkbox"/> いいえ：8% <input type="checkbox"/> 無回答・非該当：0%
2. 日常生活で必要な介助を受けているか	はい 100%		
3. 施設の生活はくつろげるか	はい 92%		<input type="checkbox"/> どちらともいえない：8% <input type="checkbox"/> いいえ：0% <input type="checkbox"/> 無回答・非該当：0%
4. 職員は日常的に、健康状態を気にかけているか	はい 100%		
5. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	はい 100%		
6. 職員の接遇・態度は適切か	はい 92%		<input type="checkbox"/> どちらともいえない：8% <input type="checkbox"/> いいえ：0% <input type="checkbox"/> 無回答・非該当：0%
7. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	はい 92%		<input type="checkbox"/> どちらともいえない：0% <input type="checkbox"/> いいえ：0% <input type="checkbox"/> 無回答・非該当：8%
8. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	はい 46%	無回答・非該当 54%	
9. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	はい 100%		
10. 利用者のプライバシーは守られているか	はい 100%		
11. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	はい 62%	無回答・非該当 38%	
12. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	はい 31%	無回答・非該当 62%	<input type="checkbox"/> どちらともいえない：8% <input type="checkbox"/> いいえ：0%
13. 利用者の不満や要望は対応されているか	はい 85%	どちらともいえない 15%	
14. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	はい 15%	無回答・非該当 77%	<input type="checkbox"/> どちらともいえない：8% <input type="checkbox"/> いいえ：0%